



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 生坂 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,001	△18.0	747	△39.1	722	△40.5	341	△31.1
28年3月期第2四半期	9,753	0.6	1,228	75.1	1,214	71.7	495	30.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 137百万円(△84.4%) 28年3月期第2四半期 880百万円(117.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	29.74	—
28年3月期第2四半期	43.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	25,455	16,393	57.2
28年3月期	25,848	16,440	56.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 14,571百万円 28年3月期 14,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
29年3月期	—	10.00			
29年3月期(予想)			—	16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△2.3	1,650	△17.1	1,550	△18.9	700	△6.8	60.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付書類4ページ(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類4ページ(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	11,500,000株	28年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	23,067株	28年3月期	23,067株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	11,476,933株	28年3月期2Q	11,477,040株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善は続いているものの、円高による企業収益の悪化懸念や海外の経済動向や政情の不安等により、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車用特殊ビスフェノールは好調に推移しておりますが、クレゾール誘導品は市況安や円高の影響を受け、また、電子材料や自動車用以外の特殊ビスフェノールについては在庫調整局面が継続し、厳しい事業環境が続いております。

その結果、当社グループの当第2四半期における売上高は8,001百万円（前年同四半期比18.0%減）、営業利益747百万円（同39.1%減）、経常利益722百万円（同40.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益341百万円（同31.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や農医薬品、電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第2四半期においては、競争激化、加えて円高の影響等から販売価格が低迷したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

・ビスフェノール

ビスフェノールは、パソコン・携帯電話・スマートフォン等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成型性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン（PPSU）の原料として使用されております。

当第2四半期においては、パソコン市場等の低迷によるLCP向けの販売減を、堅調なPPSU向けでカバーするも、円高等により販売価格が低迷したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

その結果、化学品セグメントの当第2四半期における売上高は3,526百万円（前年同四半期比12.6%減）、総売上高に占める割合は44.1%となり、セグメント利益は75百万円（同7.6%増）となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）等の製造過程で使用されております。

当第2四半期においては、半導体市場では徐々に回復傾向が見られるものの、LCD市場では在庫調整が継続しており、売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

当第2四半期においては、成形材・光学用途の一部で需要減速や新規案件立ち上げ遅れが発生したため、売上高は前年同四半期を大きく下回りました。

その結果、機能材料セグメントの当第2四半期における売上高は、1,743百万円（前年同四半期比25.1%減）、総売上高に占める割合は21.8%となり、セグメント利益は154百万円（同68.2%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しており、引き続き需要は好調に推移しておりますが、為替換算等の影響により、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受注数量が減少したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

その結果、工業材料セグメントの当第2四半期における売上高は、2,572百万円（前年同四半期比19.2%減）、総売上高に占める割合は32.1%となり、セグメント利益は963百万円（同11.6%減）となりました。

<その他部門>

販売用役(蒸気)等のその他部門の売上高は159百万円（前年同四半期比23.3%減）、総売上高に占める割合は2.0%となり、セグメント損失は47百万円（同30.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加（430百万円）、売掛金の減少（5百万円）、商品及び製品の増加（287百万円）等により、対前年度末比392百万円増加し、15,128百万円となりました。

固定資産は、対前年度末比785百万円減少し、10,327百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比392百万円減少し、25,455百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（355百万円）、未払法人税等の減少（32百万円）、長期借入金の減少（597百万円）等により、対前年度末比345百万円減少し、9,061百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（157百万円）、為替換算調整勘定の減少（253百万円）、非支配株主持分の減少（14百万円）等により、対前年度末比46百万円減少し、16,393百万円となりました。

この結果、自己資本比率は57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました業績見通しの数字について、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下の通り修正しております。

自動車用特殊ビスフェノールは好調に推移しておりますが、クレゾール誘導品の競争激化及び円高による販売価格の低迷、液晶ディスプレイ（LCD）市場の在庫調整の影響による電子材料の販売減及び自動車用以外の特殊ビスフェノールの販売減が前年度後半より継続しております。

この結果、当社グループの平成29年3月期通期の業績は、前回発表の予想よりも減収・減益となる見通しであります。

平成29年3月期通期業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,300	2,700	2,600	1,350	117.63
今回修正予想(B)	18,000	1,650	1,550	700	60.99
増減額(B-A)	△2,300	△1,050	△1,050	△650	
増減率(%)	△11.3	△38.9	△40.4	△48.1	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	18,420	1,989	1,910	751	65.44

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,441	5,872
売掛金	4,192	4,186
商品及び製品	3,445	3,732
仕掛品	388	310
原材料及び貯蔵品	861	748
その他	406	277
流動資産合計	14,735	15,128
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,660	6,842
その他(純額)	2,590	2,635
有形固定資産合計	10,251	9,477
無形固定資産	60	52
投資その他の資産	800	797
固定資産合計	11,112	10,327
資産合計	25,848	25,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,510	1,866
短期借入金	2,022	1,906
未払法人税等	419	386
役員賞与引当金	19	9
その他	1,215	1,347
流動負債合計	5,186	5,517
固定負債		
長期借入金	1,277	680
役員退職慰労引当金	105	44
退職給付に係る負債	1,829	1,843
その他	1,009	976
固定負債合計	4,221	3,544
負債合計	9,407	9,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,204	12,361
自己株式	△14	△14
株主資本合計	14,703	14,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	43
為替換算調整勘定	49	△203
退職給付に係る調整累計額	△169	△129
その他の包括利益累計額合計	△99	△288
非支配株主持分	1,836	1,822
純資産合計	16,440	16,393
負債純資産合計	25,848	25,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,753	8,001
売上原価	7,590	6,322
売上総利益	2,163	1,678
販売費及び一般管理費	935	930
営業利益	1,228	747
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
還付所得税等	8	2
その他	11	6
営業外収益合計	22	12
営業外費用		
支払利息	32	25
固定資産除却損	0	9
その他	3	3
営業外費用合計	36	38
経常利益	1,214	722
税金等調整前四半期純利益	1,214	722
法人税等	458	188
四半期純利益	755	533
非支配株主に帰属する四半期純利益	260	192
親会社株主に帰属する四半期純利益	495	341

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	755	533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	23
為替換算調整勘定	134	△460
退職給付に係る調整額	△17	40
その他の包括利益合計	124	△396
四半期包括利益	880	137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	560	151
非支配株主に係る四半期包括利益	320	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,035	2,328	3,181	9,545	208	9,753	—	9,753
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,035	2,328	3,181	9,545	208	9,753	—	9,753
セグメント利益又は セグメント損失(△)	70	485	1,089	1,646	△69	1,577	△348	1,228

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△348百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△348百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,526	1,743	2,572	7,841	159	8,001	—	8,001
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,526	1,743	2,572	7,841	159	8,001	—	8,001
セグメント利益又は セグメント損失(△)	75	154	963	1,193	△47	1,145	△397	747

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△397百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。